

編集後記

2018年2月の大寒波は日本海側に記録的な降雪量をもたらしました。気象庁の観測ではラニーニャ現象や黒潮大蛇行によって発生した南岸低気圧の影響ではないかとのことです。人口密度が高い平野部で長時間降り続く里雪であったため被害が大きく広がりました。

荒々しい自然の息吹によって鉄道や道路の交通に依存する人間の文明が凍えた様相ですが、本当は知らぬ間に人間の文明が自然環境を損ない、地球温暖化を招いた結果ではないかと懸念されます。顧みて人間を超えた自然への畏敬の念を深める機会にしたいものです。

さて顧みれば、お陰様で本学人間科学部も創設10周年を迎えました。「十年一昔」と言いますが、世の中の移り変わりは激しく、「年年歳歳花相似たり、歳歳年年人同じからず」で、教員は奉職から退職まで学生は入学から卒業まで、いつの間にか入れ替わっています。

宮崎正史教授もそのお一人です。学部長として人間科学部の創設に尽力され、大学学長としてUNIVERSITYとなった本学の舵取りをされました。誰とでも分け隔て無く温顔で接しているお姿は「善意の紳士」の品格を湛えて大学のイメージアップに貢献されました。

今後は「創業は易く守成は難し」で、人間科学部は新たな10年へ未来志向で歩まねばなりません。そのためには「人間とは何か」という永遠のテーマと真摯に向き合わねばなりません。なぜなら、AI（人工知能）もデータを用いて「考える存在」となったからです。

人間にしかできないと信じられてきた「思考」や「判断」という高度な領域に神ならぬAIが台頭する未来は近づいています。しかし、スペックの高い工業製品としてのAIを産み出したのも他ならぬ人間です。AIは人間が幸福を追求するための道具となるのでしょうか。

このように、人間科学は人間そのものが研究対象となるので面白く、興味が尽きません。

今号は、こども学科13件、スポーツ学科4件、合計17件の投稿がありました。

どうぞご高覧ご批評くださいますよう、宜しくお願い申し上げます。

2018年2月吉日

編集委員長 馬場 治

《投稿された論文等に関する著作権は基本的に人間科学部に帰属します》
「金沢星稜大学学会 会則と規程等」については下記WEBサイトの閲覧をお願い致します。

<http://www.seiryu-u.ac.jp/u/education/gakkai/research02.html>

金沢星稜大学人間科学研究 第11巻第2号
(通巻第21号)

平成 30 年 2 月 26 日 印 刷
平成 30 年 2 月 28 日 発 行

発 行 金沢星稜大学学会人間科学部会

〒920-8620 金沢市御所町丑10番地1
TEL (076) 253-3984
FAX (076) 253-3998

印刷所 ソノダ印刷株式会社

〒921-8161 金沢市有松4-3-26
TEL (076) 247-5157

金沢星稜大学学会人間科学部会

部会長 永坂正夫

編集委員 馬場治(委員長)

齊藤陽子 連 桃季恵